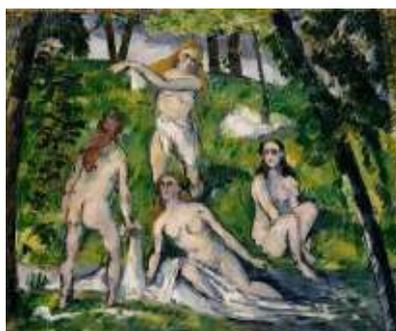


<次回企画展のご案内>

## セザンヌー近代絵画の父になるまで

2015年4月4日(土)～9月27日(日) ポーラ美術館



(左) ポール・セザンヌ《砂糖壺、梨とテーブルクロス》1893-1894年 ポーラ美術館蔵  
(中) ポール・セザンヌ《4人の水浴の女たち》1877-1878年 ポーラ美術館蔵  
(右) ポール・セザンヌ《アルルカン》1888-1890年 ポーラ美術館蔵

ポーラ美術館（神奈川県・箱根）は、2015年4月4日（土）から9月27日（日）まで、当館が収蔵するセザンヌの作品9点を含むセザンヌ作品およそ20点に、セザンヌにゆかりの深い画家たちの作品を加えた、およそ50点の作品でセザンヌの生涯を探究する企画展「セザンヌー近代絵画の父になるまで」を開催します。

ポール・セザンヌ（1839-1906）は、ブラックやマティスをはじめとする、20世紀の芸術家に多大なる影響を与えた画家として知られています。「セザンヌはわれわれ皆の父親のような存在でした」という言葉を残したのはピカソですが、この時代に新しい表現を生み出した芸術家たちは、独創性の高い表現を達成したセザンヌを、文字通り「父」と見なしていたのです。しかしながら、そのような存在に至るまでのセザンヌ自身の道のりは、決して容易なものではありませんでした。

故郷エクス＝アン＝プロヴァンスで画家としての一步を踏み出したセザンヌは、パリに上京すると、最新の芸術の動向に対峙します。1870年代には、印象派の画家として活動しますが、セザンヌの作品が公式に評価されたのは、1890年代、セザンヌが50代を迎えてからのことでした。当時、セザンヌは故郷のある南仏へと活動拠点を移しており、評価の高まったパリの美術界では、伝説的な存在として語られるようになります。

ポーラ美術館が収蔵する9点のセザンヌ作品には、セザンヌが生涯をかけて取り組んだ肖像画、水浴図、静物画、風景画の優品が含まれています。本展覧会では、当館のコレクションに加え、国内に収蔵されているセザンヌ作品を集めて、「近代絵画の父」になるまでにセザンヌがいかに歩みを進めたのかを、同時代の芸術家たちとの交流や対話を跡づけながら検証していきます。

— 記 —

- 展覧会名称：セザンヌー近代絵画の父になるまで
- 会場：ポーラ美術館 展示室 1  
〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285
- 会期：2015年4月4日（土）～ 2015年9月27日（日） ※会期中無休
- 展示数：＜油彩画＞ 約 50 点
- 出品作家：ポール・セザンヌ、ギュスターヴ・クールベ、エドゥアール・マネ、クロード・モネ、  
ピエール・オーギュスト・ルノワール、カミーユ・ピサロ、エドガー・ドガ、ポール・ゴーガン、  
フィンセント・ファン・ゴッホ、アドルフ・モンティセリ、ジョルジュ・ブラック、  
パブロ・ピカソ、アンリ・マティス 他
- 開館時間：9:00～17:00（入館は 16:30 まで）
- 入館料：大人 1,800 円、シニア割引(65 歳以上)1,600 円、大学・高校生 1,300 円、中・小学生 700 円  
※料金はいずれも個人料金、消費税込み ※中・小学生は土曜日、入館無料
- 一般からのお問い合わせ：ポーラ美術館 0460-84-2111
- ホームページ：http://www.polamuseum.or.jp



(左) ポール・セザンヌ《プロヴァンスの風景》1879-1882年 ポーラ美術館蔵



(右) ポール・セザンヌ《ラム酒の瓶のある静物》1890年頃 ポーラ美術館蔵

＜報道に関するお問い合わせ＞

ポーラ美術館 広報事務局：後藤、田中、小椋、三井  
TEL 03-3575-9823 / FAX 03-3574-0316 / メール polapr@kyodo-pr.co.jp